

## 水質の現況と改善の取り組み

### 目次

1. 猪名川の水質の現状 .....	1
1.1 水質環境基準の類型指定状況と主要水質調査地点 ..	1
1.2 平成25年度における水質調査結果 .....	2
2. 猪名川における水質改善の取り組み状況 .....	3
2.1 住民との協働による水質一斉調査 .....	3
2.2 猪名川水環境パネル展 .....	7
2.3 猪名川水環境交流会 .....	10
2.4 神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会 .....	11



# 1. 猪名川の水質の現状

## 1.1 水質環境基準の類型指定状況と主要水質調査地点

猪名川流域における環境基準の類型指定は、猪名川本川の箕面川合流点より上流が河川 A 類型、箕面川合流点から藻川との分岐点までと藻川及び藻川合流点から国管理区間下流端までが河川 B 類型、猪名川本川の藻川分岐点から合流点までが河川 D 類型に指定されている。

支川では、箕面川、余野川、千里側、田尻川、一庫大路次川及び山辺川が河川 A 類型に指定されている。

また、公共用水域の水質調査は、各環境基準点と支川の駄六川、内川および最明寺川において実施されている。

表1.1.1 猪名川における環境基準点と類型指定状況

河川区間名	範囲	環境基準点 (水質調査地点)	類型 指定	備考
猪名川下流(1)	箕面川合流点より下流(藻川を含む) ただし藻川分岐点から合流点を除く	中園橋	B	平成12年度まではE類型
猪名川下流(2)	藻川分岐点から合流点まで	利倉	D	
猪名川上流	箕面川合流点より上流	軍行橋	A	平成20年度まではB類型
		銀橋	A	
千里川	全域	猪名川合流直前	A	平成12年度まではB類型
駄六川	—	(駄六川流末)	—	類型指定なし
箕面川(1)	箕面川取水口より上流	箕面川取水口	A	
箕面川(2)	箕面川取水口から兵庫県界まで	府県境	A	平成12年度まではB類型
内川	—	(内川流末)	—	類型指定なし
最明寺川	—	(最明寺川流末)	—	類型指定なし
余野川	全域	猪名川合流直前	A	平成12年度まではB類型
田尻川	兵庫県界より上流	兵庫県界	A	平成14年度までは類型指定なし
一庫大路次川	京都府界から兵庫県界まで	兵庫県界	A	
山辺川	全域	一庫大路次川合流直前	A	

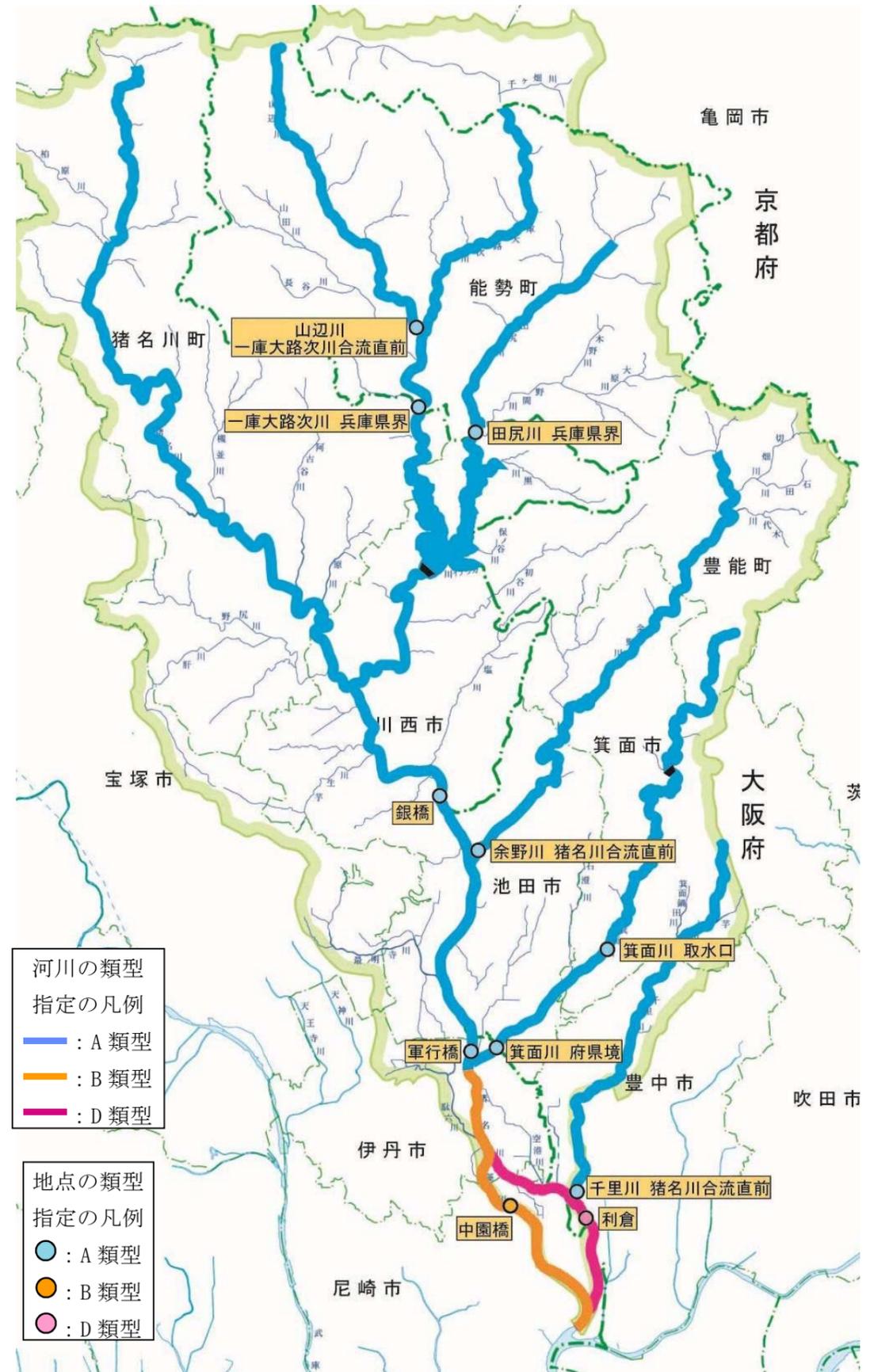


図 1.1.1 猪名川の水質環境基準類型指定状況

## 1.2 平成 25 年における水質調査結果

平成 25 年（1 月～12 月）の BOD 年平均值は、呉服橋地点で 0.9mg/L、軍行橋地点で 0.8mg/L、猪名川橋地点で 0.9mg/L、利倉地点で 7.8mg/L であり、猪名川橋地点及び利倉地点については前年度よりも水質が改善し、平成 24 年度において D 類型の環境基準値：8mg/L を超過していた利倉地点を含め、全地点において環境基準を満足する結果となった。

なお、猪名川の中・上流域の BOD 年平均值は 0.8mg/L～0.9mg/L 程度で、A 類型の環境基準値：2mg/L 以下を十分に満足しており、きれいな水質を維持していると言える。

また、猪名川（直轄管理区間の 4 地点）、大和川および鶴見川における近年の水質（BOD 年平均值）変化は、図 1.2.2 のとおりである。

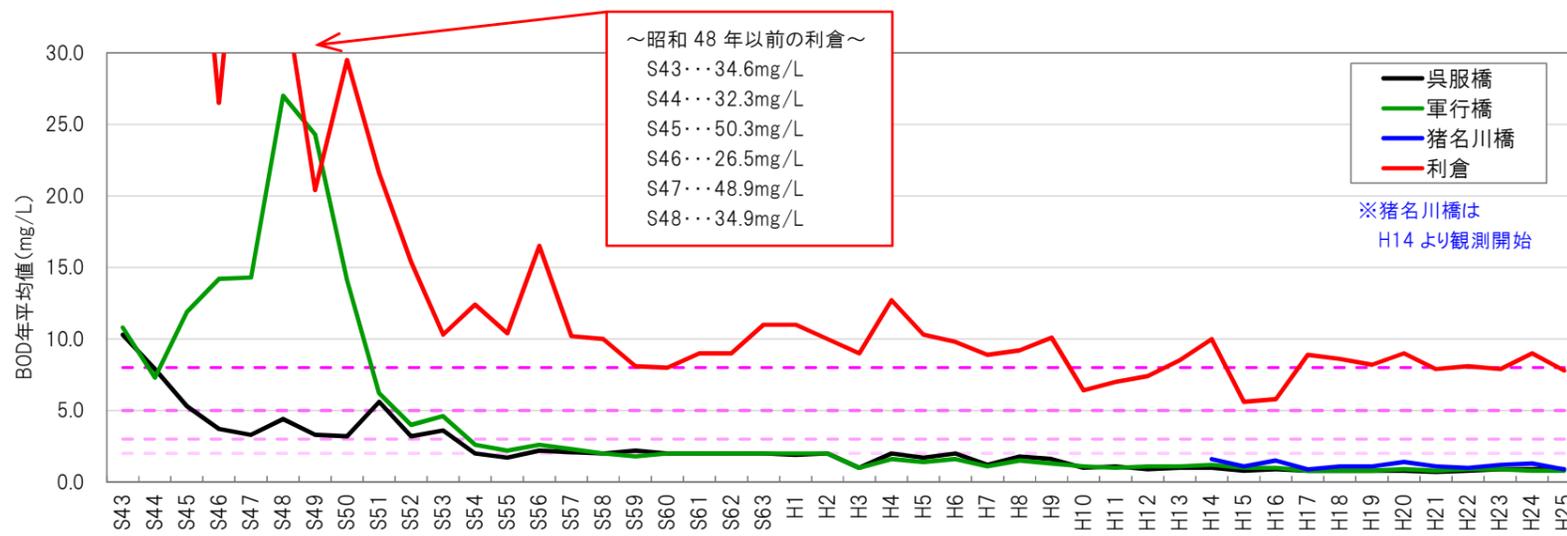


図 1.2.1 猪名川直轄管理区間内水質調査地点の BOD 年平均值の経年変化

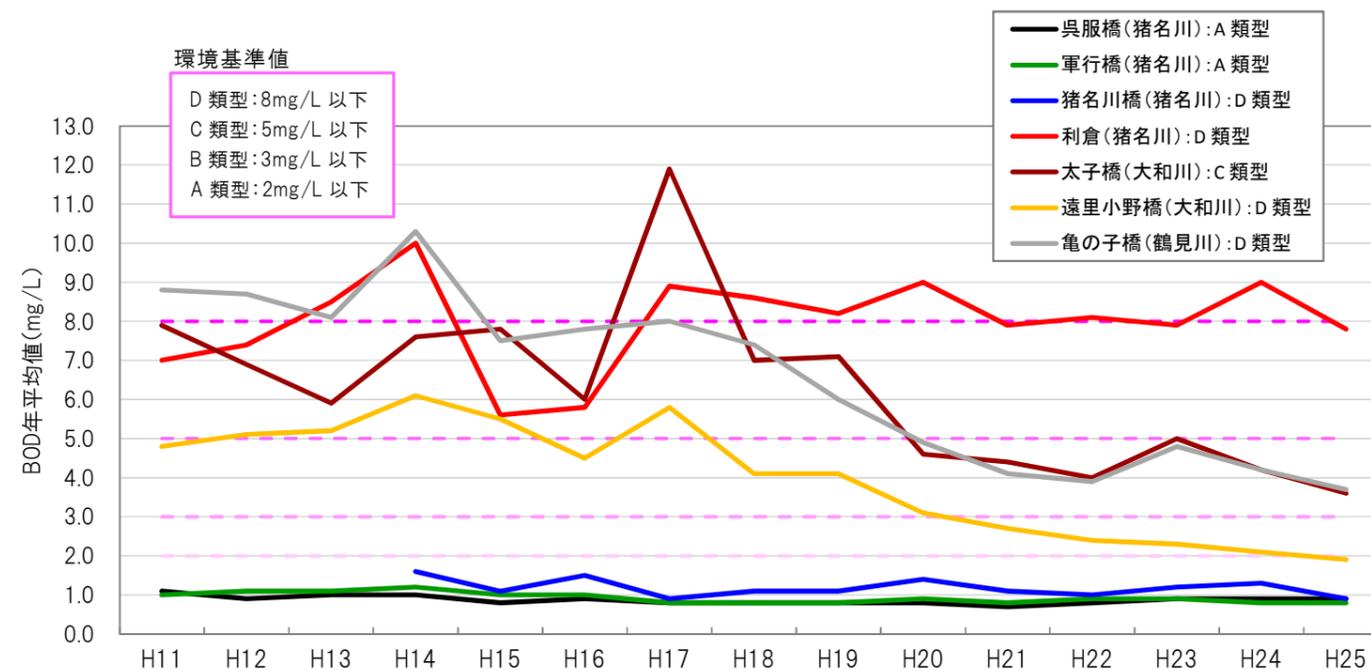


図 1.2.2 近年における猪名川と全国他河川との BOD 年平均值の比較

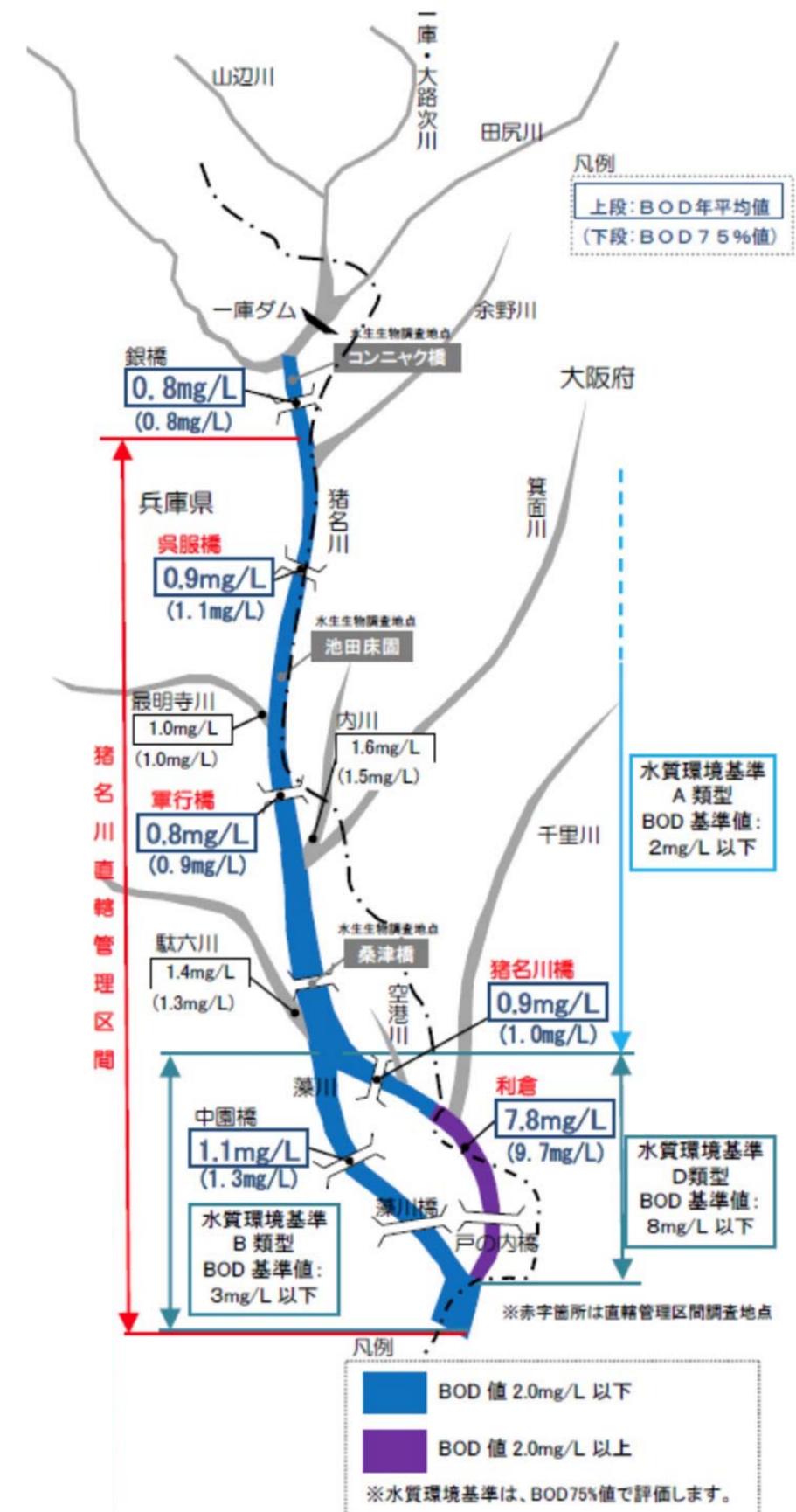
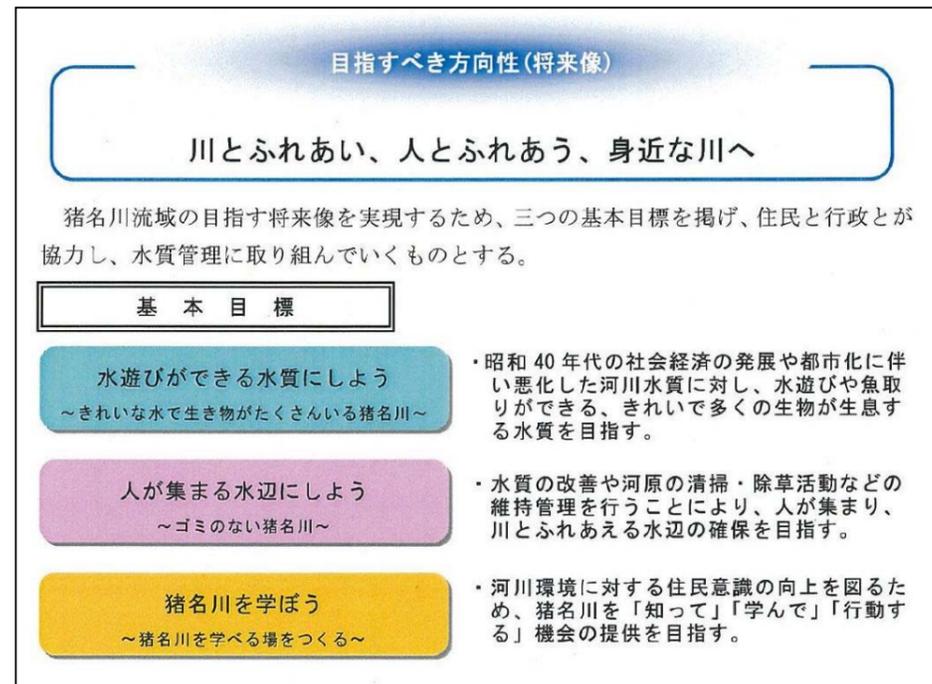


図 1.2.3 平成 25 年の猪名川の水質調査結果

## 2. 猪名川における水質改善の取り組み状況

猪名川の水質管理は、住民と行政でつくる「神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会」において、「猪名川流域の水質管理の方向性と目標」として『川とふれあい、人とふれあう、身近な川へ』という目指すべき方向性（将来像）を策定し、この将来像を実現するために3つの基本目標を掲げ、様々な水質改善に向けた取り組みを進めている。

猪名川流域の水質管理の方向性と目標



出典：「猪名川流域の水質管理の方向性と目標」について  
(平成22年11月1日 神崎川水質汚濁対策連絡協議会、猪名川分科会)

〔調査状況〕



小学生による調査実施状況



パケットテスト実施状況

調査項目および5段階の点数評価項目は以下のとおりである。

表 2.1.1 猪名川水質一斉調査 調査項目

調査項目		測定方法	備考
1	天候	目視	
2	気温・水温	温度計計測	
3	採水した場所	—	
4	ごみの状況	目視	人の感覚調査
5	川底の状態※ <sup>1</sup>	目視、写真	
6	川底の感触※ <sup>1</sup>	感触	
7	水の濁り	採水、目視、写真	
8	水のおい	採水	
9	水の色	採水、目視、写真	簡易水質調査
10	COD(D)	パケットテスト	
11	NH <sub>4</sub> -N		
12	pH		
13	定点写真	写真撮影	川や周りの風景

※1：川底の状態、川底の感触は、調査可能な地点のみ実施

### 2.1 住民との協働による水質一斉調査

#### (1) 実施目的

流域住民に直接猪名川に触れてもらうことにより、水質等の水環境について実感してもらい、水環境に対する理解を深めてもらうことを目的として、住民との協働による水質学習として実施している。

また併せて、平成23年度からの水質データを蓄積することにより、継続的に猪名川の水質実態を把握することも目的の一つとしている。

#### (2) 調査方法と調査項目

水質調査については、「猪名川水質一斉調査の手引き（平成25年版）（猪名川分科会）」に基づき、主な調査項目の内、pHを除く8項目（調査項目の4～11）を各5点満点で点数化し、各調査地点の水質を評価している。

表 2.1.2 猪名川水質一斉調査 点数評価項目

人の感覚による水質調査結果										簡易水質調査					
①ごみの状況		②川底の状態		③川底の感触		④水の濁り		⑤水のおい		⑥水の色		⑦COD		⑧アンモニア性窒素	
点数	状況	点数	状況	点数	状況	点数	状況	点数	状況	点数	状況	点数	状況	点数	状況
0		0		0		0		0		0		0	8mg/L超	0	5mg/L超
1	かなり浮いている	1	泥や藻がかなりあり、砂や石の底が見えない	1	ヌルヌルしてよくすべる	1	かなり濁っている	1	かなり臭いがする	1	色がついている	1	6超 8mg/L以下	1	2超 5mg/L以下
2	浮いている	2	泥や藻があり、砂や石の底が少し見える	2		2	少し濁っている	2		2		2	4超 6mg/L以下	2	1超 2mg/L以下
3	少し浮いている	3	泥や藻がついているが、砂や石の底は見える	3	少しヌルヌルしていて所々すべる	3	どちらでもない	3	少し臭いがする	3	少し色がついている	3	2超 4mg/L以下	3	0.5超 1mg/L以下
4	ほんの少し浮いている	4	泥や藻が少しついているが、砂や石の底は見える	4		4	少し澄んでいる	4		4		4	0超 2mg/L以下	4	0.2超 0.5mg/L以下
5	まったく浮いていない	5	泥や藻はなく、砂や石の底がはっきり見える	5	ヌルヌルしていません	5	かなり澄んでいる	5	臭わない	5	無色である	5	0mg/L	5	0.2mg/L以下

(3) 参加団体（参加人数）と実施箇所

平成 25 年度の水質一斉調査には、流域の 16 団体、合計 92 名が参加している。

表 2.1.3 参加団体と参加人数等一覧

参加団体名(順不同)	調査担当地点	参加人数	調査日
伊丹市立神津小学校4年生	3.桑津橋	47	10月21日
猪名川・神崎川水質研究グループ	17.虫生川肥前橋／23.芋生川芋生橋／24.柳谷川柳谷橋	2	10月27日
猪名川の景観を守る会	22.塩川最下流	2	10月29日
猪藻川クラブ	1.利倉	3	10月30日
NPO 法人 まいどいんあまがさき	21.宮園橋	7	10月28日
自然と文化の森協会	2.猪名川橋／7.中園橋	2	11月3日
底の見える水辺研究会	18.神崎川 JR 鉄橋下流右岸	2	10月29日
出会いの島プロジェクト	26.戸ノ内橋／27.藻川橋	5	10月27日
刀根山高校生物エコ部	4.池田床固右岸／11.箕面川下河原上橋／12.内川最下流／14.余野川中川原橋	3	10月27日
流域ネット猪名川	5.こんにやく橋／13.最明寺川下加茂歩道橋	2	10月29日 10月28日
伊丹市	10.駄六川伏見橋上流	3	10月30日
猪名川町	6.柏梨田橋	1	10月26日
川西市	19.初谷川奥橋	2	10月28日
豊中市	8.千里川箕輪橋	2	10月29日
水資源機構一庫ダム管理所	15.一庫大路次川文殊橋	2	10月30日
事務局	9.空港川岩屋大橋／16.矢間川下流／20.ゴルフ橋／25.一庫大路次川最下流	7	11月1日
合計		92人	

平成 25 年度においては、平成 24 年度の実施地点 25 地点に参加団体の要請による 2 地点（戸ノ内橋、藻川橋）を追加し、猪名川本川・藻川および支川の全 27 地点において水質一斉調査を実施している。

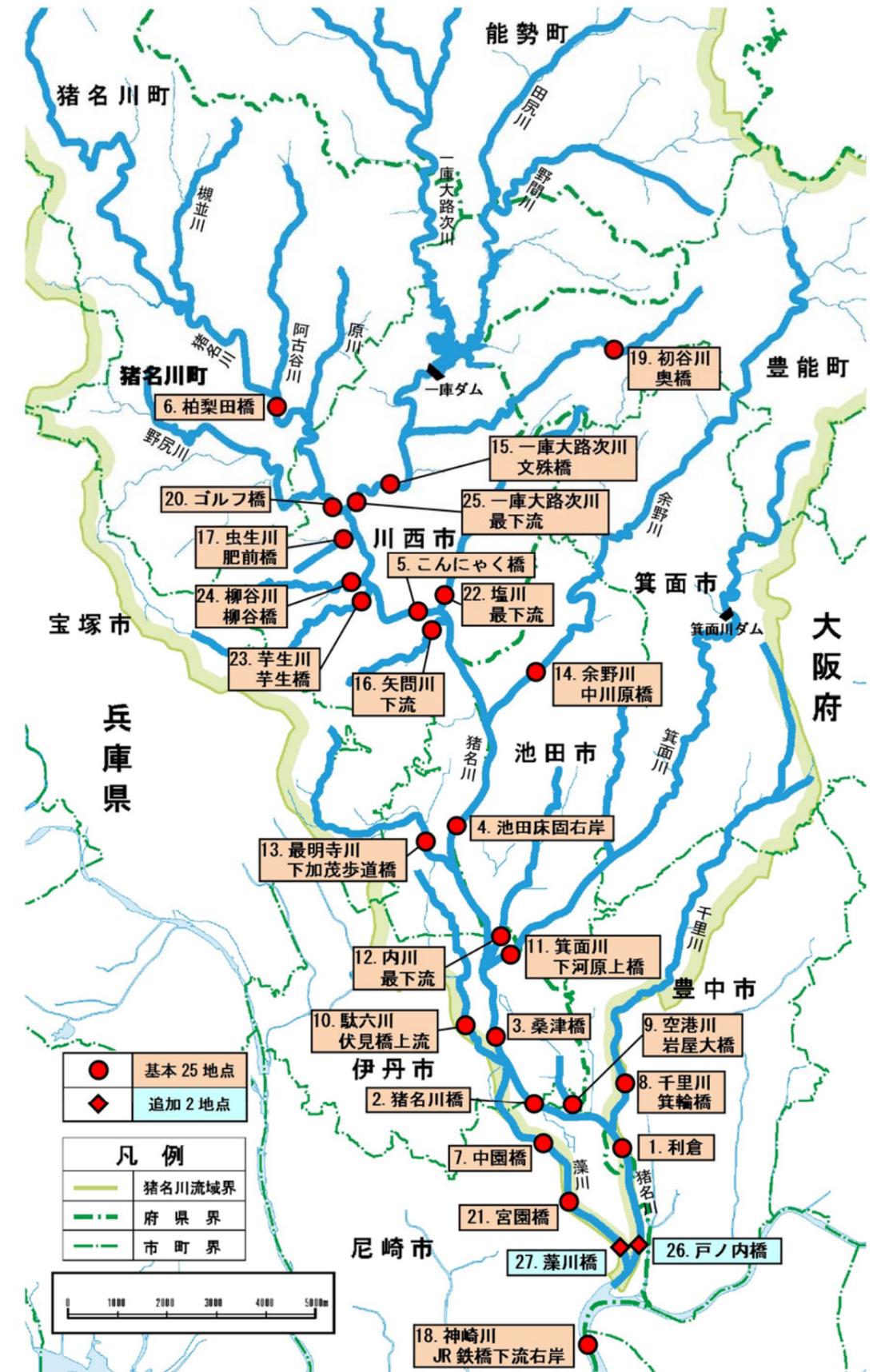


図 2.1.1 平成 25 年度水質一斉調査地点

(4) 調査結果

水質一斉調査結果については、調査地点毎の前年度と当該年度の調査結果の比較グラフ、ならびに地点毎の調査結果を模式図に示した「水環境マップ」を作成している。

水環境マップ

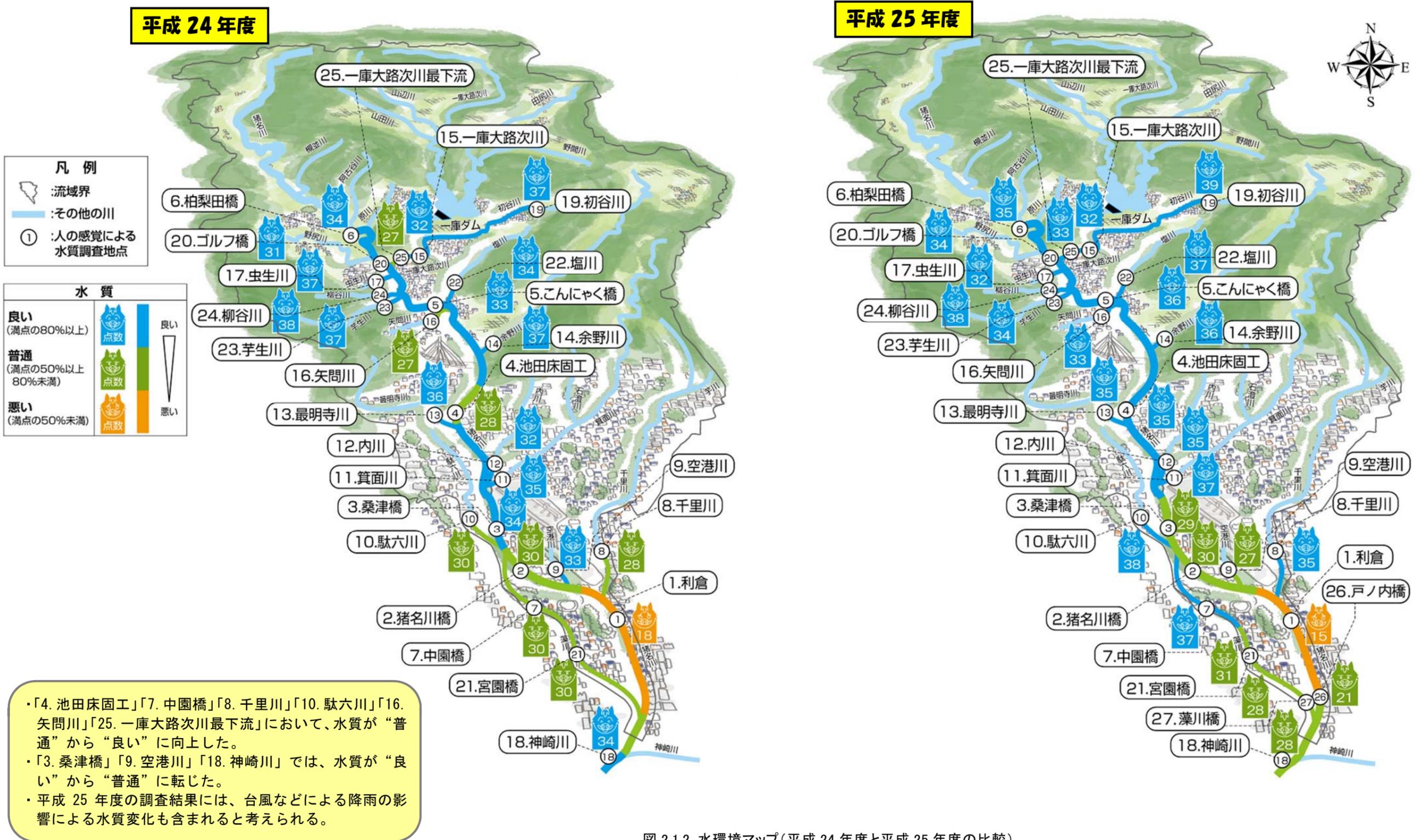


図 2.1.2 水環境マップ(平成 24 年度と平成 25 年度の比較)

〔水質一斉調査における主な意見等〕

水質一斉調査において参加者より得られた主な意見を以下に整理する。

【水質一斉調査記録票記載意見】

【④池田床固右岸(刀根山高校生物エコ部)】 ※水質向上地点

- ・増水の後で付着藻類が流されて川底がきれいだった。
- ・オイカワ、カワムツ、カマツカ、フナ、スジシマドジョウ、ドジョウ、ドンコ、カワヨシノボリ、ウキゴリ、ミナミヌマエビ、スジエビを確認した。

【⑥柏梨田橋(猪名川町)】

- ・台風の影響もあり、川岸にごみが漂着していた。
- ・昨年度実施した際にはごみが無かったことから、基本的には川岸はきれいであると思われる。

【⑪箕面川下河原上橋(刀根山高校生物エコ部)】

- ・川底がきれいだった。
- ・大型オイカワを目視、巨大なドジョウ3匹採集、ミナミヌマエビ多数を確認した。

【⑫内川最下流(刀根山高校生物エコ部)】

- ・例年ならする下水臭がほとんどなかった。
- ・オイカワ、カマツカ、ドンコ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビを確認した。

【⑬最明寺川下加茂歩道橋(流域ネット猪名川)】

- ・約600m上流にある南花屋敷栄根地区雨水ポンプ場から最明寺川へ濁り水が放流された形跡があった。
- ・約500m下流の加茂橋付近に設置された農業用ゴムダムにより、川幅いっぱいのゆるやかな流れになっていた。
- ・鴨、鷺を確認した。
- ・約150m上流の川幅いっぱいだが早い流れ部分の川底は砂や石が鮮明にきれいに見えた。
- ・10/25の雨水の影響はないと思われる。

【⑭余野川中川原橋(刀根山高校生物エコ部)】

- ・増水後で少し濁っていたが水質は良好であった。川の形状が変化していた。
- ・カワヨシノボリ、カワムツ、ドンコ、シマドジョウ、ギギ、ミナミヌマエビ、スジエビ、サワガニ、カワゲラの幼虫、コオニヤンマのヤゴを確認した。

【⑰虫生川肥前橋(猪名川・神崎川水質研究グループ)】

- ・大きなコイ6~7匹(40~50cm)を確認した。

【⑳宮園橋(まいどいんあまがさき)】

- ・川岸から見ると、随分水が濁っているように見えたが、実際に水をすくってみると、かなり澄んでいることがわかった。

【㉑塩川最下流(猪名川の景観を守る会)】

- ・台風の影響で川底もきれいな状態で水も澄んでいた。

## 2.2 猪名川水環境パネル展

### (1) 実施目的

多くの人々に、ほとんどの所できれいな水質である猪名川流域の水質の実態や、猪名川分科会に参加しているNPO団体等の活動を知ってもらうことを目的として実施している。

### (2) 実施内容と開催場所等

公共施設やイベント会場、民間の集客施設等において、猪名川分科会および分科会参加 NPO 団体等が作成したパネル（水環境を主体とした猪名川の概要や活動状況などに関する PR パネル）を展示している。

表 2.2.1 パネル展の開催場所と期間および閲覧者数

開催期間	開催場所	閲覧者数
10月11日～10月17日	池田市エコミュージアム	約280人
10月21日～10月25日	伊丹市役所	—
10月28日～10月31日	川西市役所	—
11月3日	池田サイクル&エコカーニバル(宣真高校)	約300人
11月11日～11月15日	イオンモール伊丹	約1,650人

表 2.2.2 展示パネルの概要

パネル作成者	パネルの概要(タイトル)	枚数
猪名川分科会	・水環境に関する猪名川分科会のとりくみ ・猪名川ってどんな川 ・猪名川のうつりかわり ・猪名川の水質はきれいなのか？ ・どうやって水質が改善したのか？	7枚
猪名川・神崎川水質研究グループ	・猪名川の観察調査記録 ・総合環境体験学習(生き物による水環境調べ)	6枚
自然と文化の森協会	・こんにちは 自然と文化の森協会です ・平成23年度分 水辺分野活動報告 ・大好き 猪名川・藻川	5枚
流域ネット猪名川	・一面を覆い外来種の生育場所を奪う外来植物	1枚

### (3) 開催状況とアンケート結果

各会場における開催状況と、会場において実施した“理解度”等に関するアンケート結果を以下に示す。

#### ①公共施設（池田市エコミュージアム／伊丹市役所／川西市役所）

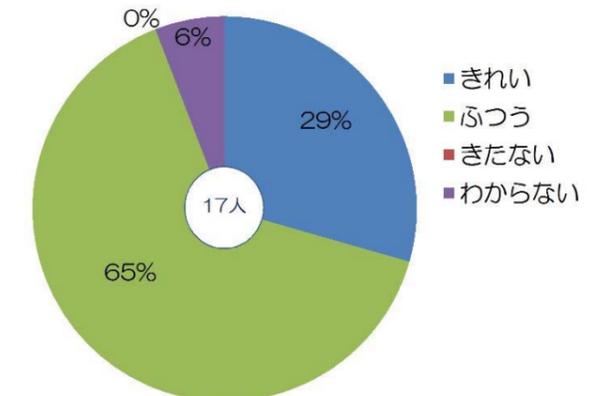
〔開催状況(池田市エコミュージアム)〕



#### 〔アンケート調査〕

パネル展示会場にアンケート用紙を設置し、猪名川の水環境・水質の印象、パネル展の内容理解度などに関する意見を収集した結果、3会場で合計17票の回答があった。

【猪名川の水環境・水質について】



【水環境パネル展の理解度】

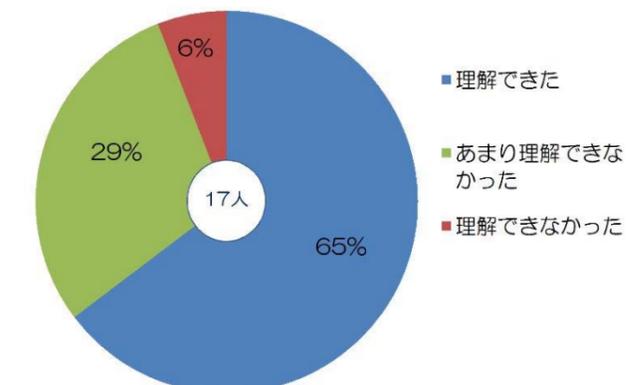


図 2.2.1 公共施設におけるパネル展でのアンケート結果

② イベント会場（池田サイクル&エコカーニバル（宜真高校））

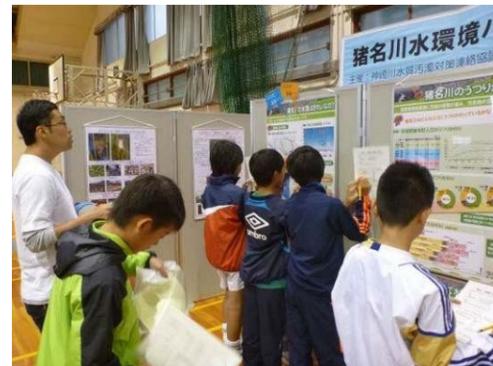
〔開催状況〕



パネル展設置状況



水質パックテスト実施状況



パネルを見て答えるクイズ等実施状況

**猪名川 水環境パネル展 クイズ**

パネル展示にヒントがありましたよ！クイズにチャレンジしてください（正解を○で囲んでください）。

問題1	猪名川の水質は、	<input type="checkbox"/> ほとんどのところできれいです。 <input type="checkbox"/> あまりきれいではない。
問題2	猪名川には、海から川をさかのぼってきた	<input type="checkbox"/> アユ <input type="checkbox"/> サケ

が生息している。

③ 民間集客施設（イオンモール伊丹）

〔開催状況〕



パネル展設置状況



水質パックテスト実施状況



〔アンケート調査〕

水質パックテストの実施とともに、ブース来訪者にアンケート用紙を配布し、パネル展の内容理解度などに関する意見を収集した結果、238票の回答があった。

また、ブースで配布したアンケートにはパネルを見てから答える2問のクイズを設け、クイズの答えを「猪名川の水質は、ほとんどのところできれい」「猪名川には、海から川をさかのぼってきたアユが生息している」とすることで、猪名川の水質の実態について意識してもらうものとした。

【水環境パネルの理解度】

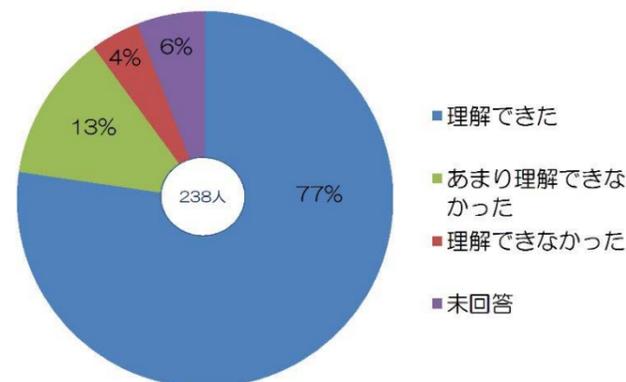


図 2.2.2 イベント会場におけるパネル展でのアンケート結果

〔アンケート調査〕

パネル展開催期間中の11月14日に「水質パックテスト」を実施し、併せてパネル内容の説明とアンケートを実施した結果、116票の回答があった。

なお、アンケート調査については、パネルを見る前と見た後の2回に分けて実施することで、パネルによるPR効果を確認した。

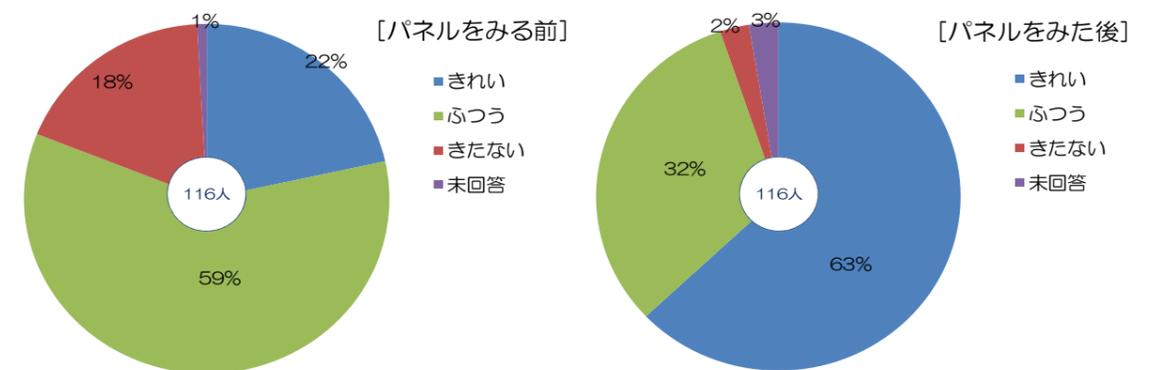


図 2.2.3 民間集客施設におけるパネル展でのアンケート結果

## 2.3 猪名川水環境交流会

### (1) 実施目的

猪名川の水環境の正しい理解と猪名川の新しい発見により、子供たちの「身近な故郷の川 猪名川」への関心を一層高めるとともに、地域との連携・つながりを高めることを目的として開催している。

### (2) 実施内容と開催場所等

子供が楽しみながら猪名川を知り、猪名川への関心を高められるよう、水環境交流会のプログラムを、①デジタル紙芝居、②インタビュー形式による猪名川の水環境の現状報告、③猪名川の水環境に係る活動報告（池田市里山あそび隊／猪名川河川レンジャー）、④クイズ大会の4部構成として実施している。

またプログラムの最後には、デジタル紙芝居で紹介した猪名川の「ええとこ」や子供たちの活動場所をとりまとめ、『ええとこマップ』としての紹介を実施している。

表 2.3.1 開催日時、開催場所と参加者数

開催日時	開催場所	参加者数
11月30日	アステ川西 アステホール	106人 (子供30人、大人76人)

### 〔開催状況〕



デジタル紙芝居



猪名川の水環境の現状報告



猪名川の水環境に係る活動報告

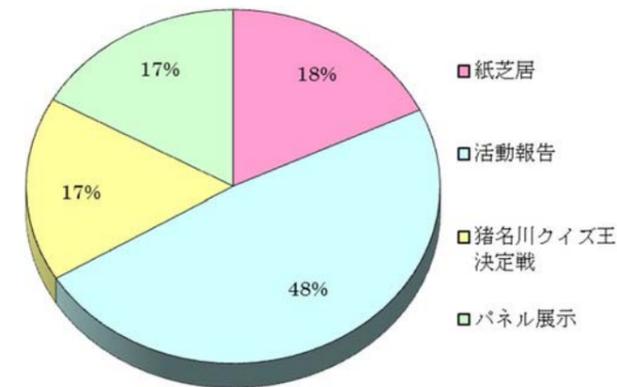


クイズ大会(猪名川クイズ王決定戦)

### 〔アンケート調査〕

水環境交流会参加者に対するアンケート調査では、65票の回答があった。

#### 【興味を持ったプログラム】



#### 【今後参加したいイベント】

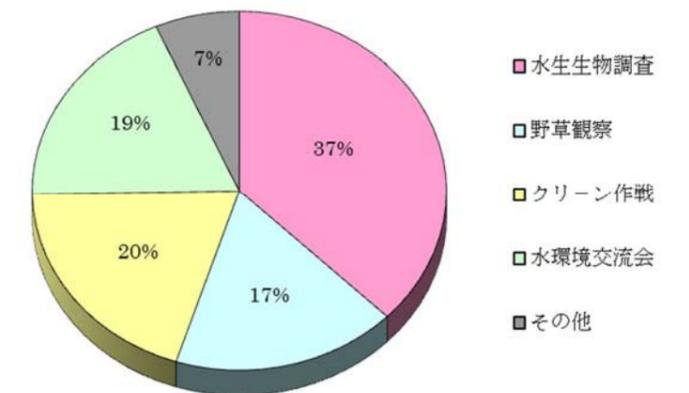


図 2.3.1 水環境交流会におけるアンケート結果

### 【アンケート自由意見】 ※原文のまま記載

- ・楽しかった。面白かった。・大変わかりやすく楽しかったです。また参加したいです。
- ・子供が楽しめるいい内容だったと思います。
- ・子供達が楽しんでいました。ありがとうございました。
- ・子供達が参加できるイベントでよかったです。
- ・子供の参加がよいです。今後もよろしく願います。・小学生の発表はよかった。
- ・子供達の発表が元気があり良かった。
- ・子供達の活動報告を聞き、よい体験をしていると思いました。
- ・これをもっと多くの子供達に広まるといいと思います。
- ・この交流会の趣旨は分からないが、あと一団体くらい子供達の発表が見てみたかった。
- ・本当はもう少し小学生の方が参加して欲しかったですね。
- ・猪名川の知らない事の話をおもしろく思いました。
- ・川西の小学校全部でもっと猪名川で接してほしいと思いました。
- ・紙芝居、クイズ大会など発表者以外にも楽しく参加できる企画があり、とても良かったです。
- ・クイズ有り楽しめました。
- ・楽しい交流会、ありがとうございました。皆さんのご努力に敬意を表します。パネルも立派で参考になりました。
- ・初めて参加しました。また次回は必ず参加したいと思います。今日は途中抜けになってしまうのが非常に残念です。もう少し子供達が環境調査に参加できる機会が増えることを願っています。
- ・生物調査みたいなやつで、夏休みのイベントに申し込み等しますがなかなか当選なくて毎年子供達とがっかりしています。
- ・今迄知らなかった事がわかり勉強になりました。
- ・シンポジウムということだったので参加した。
- ・学校のクリーン作戦をとりあげてほしい。

## 2.4 神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会

### (1) 設立経緯とこれまでの経過

猪名川分科会は、「神崎川水質汚濁対策連絡協議会」の下部組織として平成22年2月に設置され、“猪名川流域の水循環をふまえた統合的な流域水質管理システム構築をめざし、猪名川流域の河川管理者、自治体および住民・住民団体等が連携し行動すること”を目的としている。

なお、分科会の会員は、猪名川流域の2府県10市町および河川管理者等（近畿地方整備局・水資源機構）と8つの活動団体によって構成されている。

表 2.4.1 猪名川分科会の構成（会員）

自治体	大阪府／兵庫県
	豊中市／池田市／箕面市／能勢町／豊能町／尼崎市／伊丹市／川西市／宝塚市／猪名川町
河川管理者等	独立行政法人 水資源機構 一庫ダム管理所
	近畿地方整備局
活動団体等	猪名川河川レンジャー
	猪名川漁業協同組合
	アスピ友の会
	池田・人と自然の会
	猪名川・神崎川 水質研究グループ
	自然と文化の森協会
	底のみえる水辺研究会
流域ネット猪名川	

この猪名川分科会は平成21年度～平成24年度の4年間において7回開催されており、「猪名川流域の水質管理の方向性と目標」を策定するとともに、方向性と目標の実現に向けた取り組みを進めている。

平成24年度までの開催状況と主な議題・決定事項等は、表2.4.2のとおりである。

表 2.4.2 猪名川分科会の平成24年度までの開催経過

	開催日	主な議題・決定事項等
第1回	平成22年2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「方向性と目標」(案)の承認。</li> <li>・パブリックコメント実施の承認。</li> </ul> →平成22年2月22日～3月19日にパブリックコメント実施
第2回	平成22年9月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「方向性と目標」の策定。</li> <li>→ホームページにて公表</li> <li>・「方向性と目標」の推進方策(基本方針)の承認。</li> <li>・当面の取り組み内容の協議。</li> <li>・『猪名川水環境シンポジウム』後援の承認。</li> </ul>
第3回	平成23年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の活動(取り組み)の実施方針の承認。</li> <li>・平成23年度取り組みメニュー及び年間計画の承認。</li> </ul>
第4回	平成23年10月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の取り組み内容(PDCAサイクルの運用/当面の取り組みメニュー/年間計画)の承認。</li> <li>・「平成22年度年次活動報告書」の公表方法の承認。</li> <li>・『猪名川水環境シンポジウム2011』後援の承認。</li> <li>・『水質一斉調査』計画の承認。</li> <li>・『水環境パネル展』実施の承認。</li> </ul>
第5回	平成24年3月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度取り組み結果の報告。</li> <li>・平成24年度取り組みメニューおよび年間計画の承認。</li> </ul>
第6回	平成24年8月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度取り組み方針の承認。</li> <li>・『猪名川水環境シンポジウム2012』後援の承認。</li> <li>・『水質一斉調査』計画の承認。</li> <li>・『水環境パネル展』実施の承認。</li> </ul>
第7回	平成25年3月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度取り組み結果の報告。</li> <li>・平成25年度取り組みメニューおよび年間計画の承認。</li> </ul>

(2) 平成 25 年度の実施状況

平成 25 年度は、平成 25 年 8 月 9 日に「第 8 回分科会」、平成 26 年 2 月 27 日に「第 9 回分科会」を開催しており、猪名川の水質の現状報告や水質改善に向けた取り組み状況、分科会会員の活動実績などに関する報告や今後の活動に対する承認などが行われている。

〔平成 25 年度猪名川分科会開催状況〕



第 8 回猪名川分科会(平成 25 年 8 月 9 日)



第 9 回猪名川分科会(平成 26 年 2 月 27 日)

平成 25 年度の猪名川分科会における意見等から抽出した主な課題は、表 2.4.3 のとおりである。

表 2.4.3 猪名川分科会(平成 25 年度)における主な課題等

項目	主な検討課題
猪名川の水質調査全般について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■猪名川の水質評価において、原田下水処理場の下水処理水の影響を大きく受ける“利倉地点”を取り扱うことの妥当性について。</li> </ul>
『水質一斉調査』について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子供たちを対象としたパックテスト等における調査項目（硝酸態窒素や溶存酸素量など）の追加。</li> <li>■水質指標における水生昆虫調査の導入。</li> </ul>
『水環境パネル展』について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの活用など、水環境パネル展来訪者への対応における人員の確保。</li> <li>■自治体や他の活動団体が保有するパネルの追加など、展示内容の更なる拡充。</li> </ul>
『水環境交流会』について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小学校との連携促進を目的とした教職員等へのフォローの実施。</li> <li>■水環境交流会（11 月頃開催）以降の川に関わるイベントの企画・開催など、年間を通じた継続的な活動の展開。</li> </ul>
猪名川分科会における今後の展開等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国交省による「猪名川流域の遊べるマップ」作成など、新たな情報発信手法・情報発信内容の検討。</li> <li>■上流から下流まで、猪名川流域全域の団体における協力・連携体制の確立。</li> <li>■猪名川をいくつかの区間に区切り、それぞれの区間に詳しい NPO や自治会などが説明を行うウォークイベントなど、新たなイベントの企画・検討。</li> <li>■川遊びに関する大人への指導など、大人をターゲットにした取り組みの検討。</li> <li>■親子で参加できる新たな取り組みの検討。</li> <li>■様々な調査に参加した小学生が、中高生等になって指導者として参加・協力できるような取り組みの検討。</li> <li>■藻川や最明寺川におけるヘドロなどを対象とした、底質改善に向けた取り組みの検討。</li> <li>■尼崎エコフェスティバルへの参画や藻川の水生物調査での水質調査の実施など、新たな連携取り組みの検討。</li> </ul>

※これらの課題に対する具体的な意見・指摘事項の内容については、[参考資料](#) 参照。

## 参考資料

平成 25 年度「第 8 回猪名川分科会」および「第 9 回猪名川分科会」における主な意見等。

### 第 8 回猪名川分科会での主な意見等

#### ①平成 24 年の猪名川水質調査結果について

- 猪名川の水質については、利倉の水質を除外して評価すべきではないか。入れるのであれば藻川の水質にすべきではないか。
- 一年で大きく変動する BOD を平均して全国で競い合うことに疑問を感じる。平均値で議論せず、環境基準値を超えた時点の対策を考えるべきではないか。
- 平均値を算定する時に最大値と最小値の幅を考慮して評価すべきではないか。
- 下水処理場は多くの河川にあるが、通常は河川の水量が多くて BOD は薄められている。利倉では 3 割しか河川水が流れてないので、これは異常値ではないか。勇気を持って利倉を外すべきではないか。

#### ②平成 25 年度実施予定の猪名川分科会活動について

##### <水質一斉調査>

- パックテストは COD、NH4-N、pH だけでなく硝酸態窒素等も加えてはどうか。子供に教える際、COD だけでは面白くないのではないか。
- 子供には難しいので COD だけで十分ではないか。
- 水がどれだけ汚濁しているか知るためには COD だけでなく溶存酸素量も測定すべき。

##### <水環境パネル展>

- 昨年は職員が会場にいる時間が限られていたため、来場者の質問に対応できていない問題があった。ボランティアを使って運営するなど工夫が必要。
- パネル展の出典団体に偏りがあるため、自治体の取り組みのパネルを追加するなど、もっと厚みのある展示にして頂きたい。
- 市としては河川の分析結果等が展示内容として考えられる。〔豊中市〕

##### <水環境交流会>

- 研究者の専門的な発表も良いが、子供達による発表は次の世代に明るいモノが見えたような気がした。他の学校も参加しようという機運が高まるのではないか。
- 昨年の所長による水環境の説明が分かり易かった。今後も続けてほしい。
- 猪名川をフィールドに学習活動している小学校がある。(けやき坂小学校など) そのような小学校での自然体験学習等の取組みについて発表するのが良いのではないか。河川について詳しくない教員へのフォローも必要である。

### 第 8 回猪名川分科会での主な意見等

#### ～水環境交流会の続き～

- 猪名川流域での子供達の活動が少ない。愛護セミナーも年 1 回であるため、継続的に子供達が参加できる企画が必要でないか。11 月の水環境交流会の後にイベントが無いと、ただ話を聞いて水質についてわかったということだけで終わってしまう。水環境交流会の後に川で遊べるイベントを企画できないか(11 月に行われる近畿子供の水辺交流会のような)。自治体や河川レンジャーが中心になれないか。
- 学校で継続的に行っている活動でなければ自然の良さを知ることは難しいのではないか。このエリアで年間通じて水に親しむ活動を行うことは難しいかもしれない。

#### ③基本目標の実現に向けて

- 猪名川流域の遊べるマップがあると便利。国交省が発行することに意義がある。マップ作成には河川レンジャーの情報も活用すべきである。
- 川を歩くイベントも良い。個々の活動情報を広く知られるよう、情報発信の方法を検討すべきである。
- 猪名川を 15 区間に区切り、各区分について詳しい NPO や自治会などが説明するウォークを企画してはどうか。年間を通しての開催も可能になると思うので検討して欲しい。
- 「猪名川を知ろうバスツアー」は、参加者が猪名川流域のことがよくわかったと好評だった。

#### ④その他

- 猪名川のアユ遡上は天然アユか下流で放流されたアユか? など遡上についての情報が少ないので、もっと情報発信してはどうか。

※発言者の記載の無いものは、NPO 等活動団体からの発言を示す。

## 第9回猪名川分科会での主な意見等

### ①平成25年度の猪名川分科会の活動について

- 平成24年と平成25年の水質一斉調査結果を比較したグラフが分かりにくい。また、橋の上から調査する地点では、川底の状況が把握できないので評価が低くなるではないか。
- 水質調査前に雨が降ると「ゴミの状況」に関する評価が変化することに留意すべき。
- 河川で遊ぶことができる大人が減った。大人を指導するための策はないか。
- 水生生物調査に参加した親に将来指導にまわってもらえるようなサイクルが望まれる。また、調査に参加した小学生が中・高生になって、指導者として協力してもらうようなことも考えられる。
- 「汚い」という印象でも、説明すれば「きれい」と感じてもらえる、今後も猪名川を知ってもらえるイベントを増やしてほしい。
- 今年度の水環境パネル展では、展示に加えて実際に水質測定を行ったことは良い成果だと思う。
- 尼崎のエコフェスティバル（5月）にも分科会として参加してほしい。
- 藻川で小学生と年に7～8回水生生物調査（魚捕り）をしているので、パックテスト試薬を頂けるのであれば水質調査にも協力できる。
- いろいろな仕掛けで子供たちの意識が「猪名川はきれい」に変化した後の、その次の仕掛けについても考えていきたい。

### ②猪名川分科会会員の活動実績について

- 曝気装置の運転によりアオコ対策を行ったが、台風18号や残暑の影響により昨年度もアオコが発生してしまった。〔水資源機構〕
- 5月中旬には一般向けの意見交換会を行っている。今後、ダムの取組みについてもっと広めていきたい。〔水資源機構〕
- ゴミの状況は地点によって異なる。最明寺川の加茂橋あたりにゴミが多くて川の印象が悪い。労力は提供するのでゴミを除去するための策を考えてほしい。
- 平成24年の猪名川の水質に関する報道について非常に残念に思っている。新聞報道の影響力を考えた処置が必要ではないか。利倉は水質調査地点から外すべきではないか。
- 水質だけが猪名川における問題ではない。上流から下流までの団体で協力し合って、猪名川の良さを伝えていきたい。
- 猪名川の水量が少ないのが利倉のBODが高い原因ではないか。何か方策を考えて欲しい。また、猪名川では水辺に近づける場所が減っているのではないか。
- 利倉を除けば、猪名川の水質は淀川よりもきれいである。新聞社の報道は不勉強によるものではないか。
- 利倉の水質は汚いとされているが、たくさんの魚や鳥類が生息し、水辺で遊ぶ人もいる。地元で川とふれあっている人には汚いという意識はないと思う。水質の数値だけでなく違う視点でも議論すべきではないか。

## 第9回猪名川分科会での主な意見等

### ～猪名川分科会会員の活動実績についての続き～

- 藻川で捕れた魚はヘドロの臭いがする。底質の議論も今後進めて欲しい。
  - 少子高齢化による農林業の衰退が、水質汚濁負荷にどういった影響を与えるのか教えて欲しい。ダム貯水池に流入する農業系負荷量が今後どのようになるか気になっている。〔水資源機構〕
- ### ③平成26年度の活動計画（案）について
- 水質の指標として水生昆虫の調査が必要ではないか。
  - 最明寺川の底質にはヘドロが堆積している。
  - 住民意見にあるように、ゴミの散乱など、見た目の印象で猪名川を「きたない」と感じている人が多いのではないか。活動のたびにゴミを拾うようにしているが、特に出水後のゴミ拾いは重要。ゴミ拾いの活動は、その地域・場所に見合ったやり方を見極める必要がある。
  - 淀川や木津川など、他の河川では大学の研究対象となっている河川があるが、猪名川ではこのような研究が少ないと感じている。
  - 報道やごみの問題等、課題はあるが今後も各団体が協力して取り組みを続けることが重要である。〔池田市〕
  - 川西市では、水質や環境に対する取組みが比較的少ないので、今後はこれらを政策の中に取り込めるように努めていきたい。〔川西市〕
  - 河川の水量の問題を視野に、水の源である里山の保全に対する取組みを考えている。〔猪名川町〕
  - 新しい取組みが必要である。〔尼崎市〕
  - これまでの経緯もあるが、BODに変わる指標もあればいいと思う。農林業が与える影響は有機汚濁負荷よりも栄養塩類の負荷である。〔大阪府〕

※発言者の記載の無いものは、NPO等活動団体からの発言を示す。